



「自由」について考える

「自由」、君たちにとってはとても魅力的に響く言葉でしょうか。「何か」や「誰か」にしばられたりしない。他の誰かに命令されたり、強制されたりせずに好きにのびのびできる。時間に追われずに楽しく生活できる。きっと今の君たちが理想として求めるイメージがありますよね。しかし、本当にそうでしょうか？今回は「自由」について考えてみましょう。

さて、自分に「自由」があるということは、当然ほかの人にも同じように「自由」があるということです。たとえば休み時間に教室を走り回っていたとします。そうすると真剣に勉強したいというほかの誰かの「自由」をじゃましてしまう場合があります。また、トイレで「自由」に遊んでいれば、落ち着いて用をたしたい誰かを邪魔してしまいますし、図書室で大声ではしゃいでいれば、静かに読書をしたい誰かの「自由」をじゃましてしまうことになります。つまり、自分だけ、あるいは自分たちだけ「自由」であればいい、楽しければいいでは困るのです。

ほかの人の「自由」をじゃましてしまうということは、逆に自分の「自由」がじゃまされるかもしれないということです。そうすると時には「自由」をがまんすることが必要なことがわかりますね。

日本国憲法でも「表現の自由」や「学問の自由」など、さまざまな「自由」が保証されています。しかし、そこには必ず、ほかの人々の「自由」や幸せをさまたげてはならないという「義務」と「責任」が課せられて（＝与えられて）いるのです。たとえば「表現の自由」だからといって「自由」にほかの人の悪口や秘密をほかの人に伝えてしまったとすると、いったいどうなってしまうことでしょうか…。

それでは、集団の中でみんなが快適な生活を過ごせるようにするためにはどうしたらいいでしょう？

それは第一に、お互いの「自由」を尊重し、保証してあげることです。そして、そのためには、人の心や立場に気を配る温かな思いやりの心、お互いの立場を尊重し合う優しい心をもつことが必要です。

そして第二に、自分の責任を果たそうとしないで勝手なことをしている人を集団の一員として、みんなで許さない、そしてその人を正しい方向へ導いてあげようという勇気も必要です。さらにはいろいろな仲間を、集団の大切な一人として、広い心で受け入れてあげることが大切なのです。

こうして、お互いにひとりひとりの「自由」を大切にすることが、みなさんひとりひとりの快適な生活と、全ての人が過ごしやすい、よりよい社会へとつながるのです。

さて、川越校外学習がいよいよ明後日に迫りました。

ここで忘れてはならないことは、校外学習のきまりは、みなさん自身が作り上げてきたものだということです。例えば、実行委員会を中心に持ち物やお小遣いなどのきまりが決定しました。それなのに「お菓子が食べたかったから、他の人にわからなければ…」と自分だけの「自由」を主張することは決して許されないことです。それは「自由」ではなく、ただの自分勝手であると同時に、これまで一生懸命頑張ってきた実行委員や、ちゃんときまりを守ろうとしている仲間への裏切りにあたるからです。

1年生全員が楽しく、充実した一日を過ごすために、「ぼくは、わたしは」という自分のことだけでなく、ぜひ「**ぼくたちは、わたしたちは**」という、集団としての高い意識をもつてのぞんでください。4月の市内巡りの反省もふまえて、みなさんひとりひとりの力で、全員が楽しい校外学習にしましょう。

□来週の予定

月/ 日(曜)	行事予定	備考
9/15(月)	敬老の日	
9/16(火)	あいさつ運動始 ヤギカフェ	
9/17(水)	水曜サブリ	
9/18(木)		学校公開期間始
9/19(金)	校外学習	
9/20(土)	土曜授業 安全教育の日 引き取り訓練	学校公開期間終